

ジュニア賞

親孝行ゲーム

田中 温也 (中学2年生：大阪府)

子どもと親のスケジュールや手伝ってもらってうれしいことを、ゲームの画面上に具体化し、日頃の感謝を、素直に無理なく伝えて、実行できるゲームを考えました。携帯、ノートパソコン、デスクトップパソコンなどにインストールして使用します。

【内容】

1. 週末に、親に「来週お手伝いしてもらいたいリスト（親孝行アイテム）」と「来週1週間のスケジュール」を入力してもらった後、子どもの「来週1週間のスケジュール」の入力を済ませると、『親孝行ゲーム』が始まる。
2. 子どもと親のスケジュールを見ながら、親孝行アイテムをスケジュールの中に埋め込んでいく。
3. スケジュール的に無理がある場合、画面に警報マークが点灯し、無理のないスケジュールが作成できるように誘導される。
4. スケジュールへの埋め込みが完成すると、スケジュール管理能力スコアが表示され、無理なくお手伝いができるように、楽しみながらスケジュール管理能力が養える仕組みとなっている。
5. 週末に、1週間でどれだけお手伝いが実施できたかを入力することで、画面上に親孝行獲得ポイントが表示されるとともに、このように作成すればより良かったという推奨スケジュールが表示される。
6. 一方では、親は、同様の『子供孝行ゲーム』を実施し、親子でポイントを競い合う。

このゲームの利点は、(1) スケジュール管理能力を養成することができるだけでなく、(2) 親子の自然なコミュニケーションの機会を増やすことができ、さらに、(3) 親が子供の、子供が親の大変さをそれぞれ理解し、日頃の感謝を、素直に無理なく伝えて、実行し、お互いを思いやる気持ちを増やすことができることです。

将来、親子だけでなく、友達、先生なども参加できる温かい学校づくりに役立つゲームや、さらには、温かい社会づくりに役立つゲームに発展させたいと思っています。